

# ちとせ 市議会だより

No.191



新緑のオコタンペ湖（北斗1丁目 武田 卓也 さん 撮影）

写真ではターコイズブルーのような深みのある青ですが、天候や季節、時間帯や見る位置の違いで、エメラルドグリーンの様にも見えるなど、次々と顔色を変えていくオコタンペ湖は、オンネトー、東雲湖と併せ北海道三大秘湖と呼ばれるそうです。〈撮影者のコメント〉

※国道451号線からオコタンペ湖へ続く道道78号線は現在通行止めとなっております。この写真は通行止めになる前に撮影したものです。

令和3年

第1回（3月）

定例会

## 目次

- 定例会のあらまし、各委員会の活動状況 … 2～5ページ
- 代表、一般質問 …… 6～10ページ
- 議決結果、議案の賛否 …… 10～11ページ
- 予算特別委員会質疑 …… 12～15ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 …… 16ページ

# 定

## 例会のあらまし

### ●令和3年度当初予算を可決

令和3年第1回定例会は、3月1日から3月23日までの23日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和3年度各会計当初予算、各会計補正予算、条例の制定など、報告9件、議案38件が提出されました。

このうち、令和3年度各会計当初予算等17件については、議長を除く22人の委員で構成する予算特別委員会を設置、審査を付託し、補正予算にかかわる議案7件については、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、それぞれ審査を付託しました。また、1件の追加議案を除くほかの議案は、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、令和3年度当初予算をはじめ各議案等については、原案のとおり可決しました。

今定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

#### 令和3年度予算

令和3年度一般会計、6特別会計および3企業会計の総額を

815億7千166万円とする。

令和3年度予算の主な施策（第7期総合計画に掲げたまちづくりの基本目標順）

1 あたたかさつつながりを心で感じられるまち

・点字図書室等運営事業費 517万円

・千歳PCR検査センター運営事業費 2千523万9千円

・高齢者事業所感染症予防対策推進事業費 220万7千円

・高齢者事業所新型コロナウイルス発生対応特別給付金事業費 495万円

#### 令和3年度各会計予算

（単位：千円）

会計名	令和3年度	令和2年度	増減	増減率(%)
一般会計	49,808,894	49,602,658	206,236	0.4
特別会計	15,096,850	14,885,084	211,766	1.4
国民健康保険	7,997,589	8,074,137	△76,548	△0.9
土地取得事業	135,933	380	135,553	35,671.8
公設地方卸売市場事業	55,187	47,348	7,839	16.6
霊園事業	23,531	26,686	△3,155	△11.8
介護保険	5,691,605	5,582,652	108,953	2.0
後期高齢者医療	1,193,005	1,153,881	39,124	3.4
公営企業会計	16,665,916	15,938,762	727,154	4.6
水道事業会計	3,424,607	3,506,851	△82,244	△2.3
下水道事業会計	4,816,063	4,762,874	53,189	1.1
病院事業会計	8,425,246	7,669,037	756,209	9.9
合計	81,571,660	80,426,504	1,145,156	1.4

・障がい者事業所感染症予防対策推進事業費 220万7千円

・道央廃棄物処理組合焼却施設建設事業費 1億29万1千円

・障がい者事業所新型コロナウイルス発生対応特別給付金事業費 320万円

・共同受信施設設置事業費 1億821万9千円

・保育環境改善等事業費 3千25万円

3 災害や危険から暮らしを守るまち

・交通安全教育施設再整備事業費 9千368万9千円

2 豊かな自然を育み快適で住みよいまち

・防犯灯LED化促進事業費  
313万6千円

4 充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち

・みどり台小学校建設事業費  
26億7千7万5千円

・アイヌ文化担い手育成事業費  
784万3千円

・アイヌ文化イオル再生事業費  
599万5千円

5 地の利と資源を生かした産業のまち

・サテライトオフィス等設置促進事業費  
390万円

・公設地方卸売市場設備更新事業費  
927万3千円

6 暮らしやすく便利な都市基盤があるまち

・官民連携まちなか活性化推進事業費  
700万円

・住生活基本計画策定業務経費  
1千10万7千円

7 多彩な市民とオール千歳で挑戦するまち

・千歳市議会議員選挙執行経費  
6千369万1千円

### 令和2年度補正予算

◆一般会計補正予算(第9回)

歳入歳出予算の総額に  
12億47万6千円を追加

主な補正予算の内容

・ふるさと納税推進事業費  
1億2千368万4千円

・自立支援給付事業費  
1億2千399万3千円

・特定教育・保育施設給付事業費  
1億6千467万円

・新型コロナウイルススワク  
チン接種体制確保事業費  
8千426万7千円

・道路橋梁整備事業費  
2億2千191万9千円

◆国民健康保険特別会計補正予算(第4回)

歳入歳出予算の総額から  
6億3千900万円を減額

◆土地取得事業特別会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額に  
1千711万1千円を追加

補正予算の内容

・土地開発基金積立金  
1千711万1千円

◆霊園事業特別会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額に  
37万7千円を追加

主な補正予算の内容

・霊園管理基金償還費  
47万2千円

・霊園管理費  
△9万5千円

◆介護保険特別会計補正予算(第2回)

歳入歳出予算の総額から  
2億630万9千円を減額

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額に  
2千211万1千円を追加

補正予算の内容

・後期高齢者医療広域連合  
保険料負担金  
2千211万1千円

### 令和3年度補正予算

◆一般会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額に  
2億2千1万9千円を追加

補正予算の内容

・(仮称)低所得の子育て世  
帯への生活支援特別給付  
金支給事業費  
2億2千1万9千円

### 主な条例

◆千歳市景観条例

景観づくりに関する基本的な事項その他景観法の規定に基づく手続き等に関し必要な事項を定めるため制定。

◆千歳市事務分掌条例の一部を改正する条例

組織の見直しに伴い、部の事務分掌に所要の改正を行う

ために制定。

◆千歳市基金条例の一部を改正する条例

教育情報機器整備基金を設置し、及びみんなど、ひと・まちづくり基金を地方財政法第4条の4に規定する経費の財源に充てるために制定。

◆千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正に伴い、建築物エネルギー消費性能適合性判定等に係る手数料を定め、併せて引用条文に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例

千歳市千歳コミュニティセンターの使用に係る冷房料を定めるために制定。

◆千歳市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、一般被保険者に係る基礎賦課額の算定並びに保険料の減額賦課及びその特例等に所要の改正を行うために制定。

(次ページへ続く)

(前ページから続き)

◆千歳市介護保険条例の一部を改正する条例

令和3年度から3年間の保険料率を定めるために制定。

◆千歳市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所等における業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置並びに虐待の防止のための措置等に係る基準を定め、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

指定認知症対応型共同生活介護事業所等における業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置並びに虐待の防止のための措置等に係る基準を定め、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市指定居宅介護支援等及び指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

指定居宅介護支援事業所及び指定介護予防支援事業所における業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置並びに虐待の防止のための措置等に係る基準を定め、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市火災予防条例の一部を改正する条例

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、急速充電設備の位置、構造及び管理の基準に所要の改正を行い、併せて条文の整備を行うために制定。

その他

◆工事請負契約の締結  
・みどり台小学校講堂建設工事(建築)

4億9千918万円

◆市道路線の認定

09-26南50号道路を認定。

○起点 30号通

○終点 09-26南23号道路

第1回臨時会

1月22日に招集された第1回臨時会は、1日間の会期中開催されました。

この臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算の議案が提出され、可決しました。

◆一般会計補正予算(第8回)

歳入歳出の総額に  
10億2千782万3千円を追加

●主な事業費

・市役所本庁舎等新型コロナウイルスウィルス感染症対策事業費 216万7千円

・個人番号カード発行経費 298万8千円

・地域型保育施設給付事業費 5千805万9千円

・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 4億7千586万4千円

・新型コロナウイルス感染症対応事業継続支援給付金給付事業費 4億2千159万4千円

千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査報告の概要

千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会の大山委員長は、令和3年3月23日(火)、第1回定例会本会議で調査結果について報告し、調査を終了した。

○報告の概要

【調査の経過】平成30年3月8日、千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する諸課題等について検討するため、本委員会が設置されて以降、鋭意調査を進めてきた。

【調査結果概要】

●入学定員状況について、令和元年度が募集定員240人に対して入学者が251人で104.6%、令和2年度は262人で109.2%となり、重要な目標の一つである入学定員の確保は、100%を上回る結果となった。

●財務運営について、令和元年度決算状況は自己収入の増と経費節減により黒字決算となり、大学の業務実績を評価する千歳市公立大学法人評価委員会からは、中期計画の達成に向けおおむね順調に推移しているとの評価を得た。

●学生の主体性・多様性・協調性を育成するため、グループワーク等の実施が可能となる設備を備えた増築棟の建設に着手し、令和4年4月供用開始に向け、学生の教育環境の充実に努めている。

●スマートネイチャーシティとせ構想の推進については、大学の教育研究の知見を活かしながら地域の発展に寄与する取り組みを行うっており、その取り組みについては、オープンサイエンスパーク千歳などで市民に向けて発信している。

●科学技術大学は、毎事業年度、議会に対し経営状況を説明する書類の提出が義務づけられており、議会は予算および決算の報告を受け、大学の経営状況についてチェックしていくほか、有識者によって構成されている千歳市公立大学法人評価委員会の評価結果に注視していく必要がある。

以上、本委員会はその所期の目的を達成したものと判断し、千歳科学技術大学法人化に関する諸課題の調査は、これをもって終了とする。

※調査報告の様子は、千歳市議会ホームページの議会中継で見ることができます。

# 各委員会の活動状況

1月～3月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。



▼1月21日(木) 13時

(仮称)千歳市シテイセー  
ルス戦略プラン(素案)の  
概要を含む5件の所管事務調  
査を報告済みとし、J R長都  
駅におけるプラットホームの  
幅員拡張とプラットホームへ  
の屋根設置を求める要望につ  
いて決定した。

▼3月22日(月)

千歳市景観条例の制定につ  
いての令和2年第4回定例会  
付託議案を原案可決とし、千  
歳市強靱化計画(案)の概要  
を含む13件の所管事務調査を  
報告済みとした。

▼3月2日(火) 13時  
千歳市事務分掌条例の一部  
を改正する条例の制定につい  
てなど、第1回定例会付託議  
案4件を原案可決とし、千歳  
市シテイセールス戦略プラン  
(案)の概要を含む2件の所  
管事務調査を報告済みとし



▼1月21日(木) 13時30分

新型コロナウイルス感染症  
対策を含む5件の所管事務調  
査を報告済みとした。

▼2月25日(木) 9時  
令和2年度千歳市一般会計  
補正予算(案)の概要を含む  
19件の所管事務調査を報告済  
みとした。

▼3月2日(火) 13時  
千歳市指定地域密着型サー  
ビスの事業の人員、設備及び  
運営に関する基準を定める条  
例の一部を改正する条例の制  
定についてなど、第1回定例  
会付託議案4件を原案可決と

し、第2期千歳市国民健康保  
険データヘルス計画中間評価  
(案)の概要を含む5件の所  
管事務調査を報告済みとし  
た。

▼3月22日(月)

各派交渉会終了後  
地方税法の改正の概要を含  
む3件の所管事務調査を報告  
済みとした。



▼1月21日(木) 13時

令和2年度千歳市一般会計  
補正予算(案)の概要を含む  
3件の所管事務調査を報告済  
みとした。

▼1月28日(木) 10時  
千歳JAL国際マラソンを  
含む2件の所管事務調査を報  
告済みとし、2021千歳・  
支笏湖水濤まつり会場の現地  
視察を行った。

▼2月25日(木) 10時  
令和2年度千歳市一般会計  
補正予算(案)の概要を含む  
15件の所管事務調査を報告済  
みとした。

▼3月2日(火) 13時  
千歳市手数料徴収条例の一  
部を改正する条例の制定につ  
いてなど、第1回定例会付託  
議案4件を原案可決とし、第  
3期千歳市商業振興プラン  
(素案)の概要を報告済みと  
した。



▼1月22日(金) 11時

第1回臨時会の議事運営を  
決定した。

▼2月10日(水) 13時  
議会改革について協議し  
た。

▼2月26日(金) 13時  
第1回定例会の議事運営を  
決定し、議会改革について協  
議した。

▼3月5日(金)  
補正予算特別委員会終了後  
第1回定例会2日目の議事  
運営を決定した。  
▼3月19日(金)  
予算特別委員会終了後  
代表質問における発言の取  
消しについて協議した。

▼3月23日(火) 10時  
第1回定例会最終日の議事  
運営を決定し、議会改革につ  
いて協議した。

▼3月29日(月) 13時  
議会改革について協議し  
た。



▼1月22日(金)

臨時会終了後  
公立大学法人公立千歳科学  
技術大学新校舎建築事業実施  
設計の概要を含む2件の所管  
事務調査を報告済みとした。

▼2月26日(金) 11時  
令和3年度公立大学法人公  
立千歳科学技術大学の事業計  
画及び予算の概要を含む3件  
の所管事務調査を報告済みと  
した。

▼3月12日(金)  
予算特別委員会終了後  
公立大学法人公立千歳科学  
技術大学中期目標の一部変更  
についての第1回定例会付託  
議案を原案可決とした。

# 市政

## ついでにの質問

今定例会では、3月9日から11日までの3日間、各会派等の代表質問と一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。

なお、質問議員の会派および氏名は、次のとおりです。

### 代表質問議員

- ☆自民党議員会  
山崎 昌則 議員
- ☆公明党議員団  
今野 正恵 議員
- ☆ちとせの未来を創る会  
北山 敬太 議員

### 一般質問議員

- ☆日本共産党  
吉谷 徹 議員
- ☆無所属  
落野 章一 議員

一般質問の様子は、市HPからご覧いただけます。



自民党議員会  
山崎 昌則 議員

### 第7期総合計画および人口戦略プロジェクト

**問** 次について伺う。①第7期総合計画期間10年間で、基本構想は必要に応じて見直すとしているが、どのような場合か。②実施計画は毎年見直すと聞いているが、どのように市民ニーズを反映するのか。③計画内では人口増加に向けた施策や事業を人口戦略プロジェクトと位置付けているが、具体的な進め方。

**答** 市長 ①市民生活や経済活動、行政機能が維持できないほどの大災害の発生や、人

口、産業の特性が大きく変化する事象が発生した場合などに見直しを検討する。②住心地や定住意向など、市民アンケートを毎年度実施し、この結果を市民の声として受け止め、まちづくりの方向性を確認するほか、行政評価と翌年度の施策や事業の決定に活用していく。③令和3年度は、人口の社会増の拡大に向けて、企業誘致や自衛隊の体制強化を求める活動、大和4丁目市有地の売り払い、サテライトオフィス等設置の推進などを、自然増の維持に向けては、不妊・不育症治療費の助成や産前・産後ケア、子育てコンシェルジュなどを、交流人口の拡大・関係人口の創出に向けては、観光PRやふるさと納税・ワーケーションの推進、千歳駅前広場の再整備、

### 都市計画

官民連携によるまちなか活性化の推進などに取り組み。今後も、効率的な行政運営と人口増加の維持に努め、第7期総合計画の将来都市像の実現に向けて邁進していく。

**問** 第7期総合計画では、令和12年に人口10万人達成とし、今後も人口増加の勢いを維持することを目指し、総合計画と整合性を図り都市計画マスタープランの見直しを行っている。定住人口の拡大に不可欠な住環境の整備の一環として、未利用市有地の売り払いや市街化区域の拡大を市政執行方針で述べているが、都市計画および今後の市街化区域と未利用市有地の土地利用の考え方を伺う。

**答** 市長 既存市街地については、都市施設の集積などによる土地の高度利用や、国道36号、中央大通などの沿道の利便性向上を図るため、令和3年度に策定する、千歳市第3期都市計画マスタープランや立地適正化計画の中で、用途地域などの都市計画の見直しを検討していく。また、北海道が、市街化区域と市街化調整区域に分ける区域区分の見直しを行っており、千歳恵庭圏において住居系の市街化区域の拡大ができるよう、3月下旬に決定する予定となっている。今後、人口10万人のまちづくりを進めていくうえで、市街化区域の拡大は必要と考えるが、拡大する場合は、既成市街地と連続しており、既に周辺が都市的土地利用されている地区で、都市施

### 自衛隊体制

**問** ①我が国を取り巻く安全保障環境は極めて厳しい状況にあり、宇宙・電磁波・サイ

設を効果的に配置し整備することができる地区の優先度が高いと考えている。また、市有地のうち、利用予定や活用計画のない低未利用地は民間への売却を検討するが、大規模な未利用地の売却の検討には、市民の利便性の向上や良好な住環境の形成を図るため、土地利用の動向などを踏まえ、必要に応じて北海道が定める都市計画区域の整備、開発および保全の方針や千歳市が定める都市計画マスタープランの土地利用方針に基づき、用途地域などの都市計画の変更を考えていく。

バーといった新たな領域への対応や、陸海空の統合運用など、多次元統合防衛力の構築を目指すとしている。自衛隊の体制が大きく変化している中、これまでの要望活動以上に陸上自衛隊・航空自衛隊の新編部隊の誘致活動および情報収集が必要と考えるが所見を伺う。②新たな部隊等の誘致を求める活動をこれまで以上に積極的かつ精力的に行うとしているが、具体的な活動について伺う。

**答** 市長 ①自衛隊の体制の変化は、今後のまちづくり全般に大きな影響を及ぼす可能性があることから、引き続き北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会や千歳市における自衛隊の体制強化を求める期成会と連携を図り、積極的な誘致活動を実施していく。さらに、防衛計画の大綱および中期防衛力整備計画に基づく今後の自衛隊の体制の変化には、防衛省や北海道防衛局等とより緊密に連携を図るため、情報収集体制の強化を検討し効果的な活動へとつなげていく。

②現在の中期防衛力整備計画に加え、令和6年度を始期とする、次期中期防衛力整備計画策定の動向にも注視しながら、市議会と一体となって要望活動を実施するとともに、

## 今後の財政運営

自衛隊の体制維持・強化に対する熱い思いを発信する中央大会や市民大会の開催も、効果的な時期を見極めながら検討していく。

**問** 次について伺う。①令和3年度予算編成は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、歳入一般財源が大幅に減少された中、予算は過去最高額で編成された。この予算についての考え。②負債を負ってまで財政調整基金を35億円に回復させた考え。③コロナ禍の影響は数年続くと予想されるが、今後の財源確保の考え方。④この感染症の影響を受け起債の借入残高の大幅な増加が見込まれる。これから次期標準化計画を策定するが、公債費等の償還はどう変化し、財政計画をどう検討しているのか。

**答** 市長 ①令和3年度の当初予算は、継続事業である、みどり台小学校建設事業や公立大学法人公立千歳科学技術大学の校舎増築などの大型事業と、新型コロナウイルス感染症により冷え込んだ市内経済の活力を生み出すため、国庫支出金などの特定財源を確保し、結果として過去最高額となった。今後も、事業実施の必要性と、将来負担などの財政上の影響を踏まえ、持続可能な財政運営に努めていく。②令和3年度も感染が拡大した場合、今年度と同様の対策を講じなければならぬことから、十分な財政調整基金の残高が必要であると判断し、残高を増加させ35億円を確保したものである。③財源については、新たな財源の確保と節減のほか、全事業の見直しやシーリングなどを行い、確保に努める。④公債費等の償還は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は約7千5百万円の増、令和5年度から12年度までの8年間は、約2億2千万円の増、令和13年度から22年度までの10年間は、約2億円の増となる見込である。また、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度の策定を見送った財政標準化計画は、本市の財政のスタンダードを示した大変重要な計画であることから、今年の秋までの策定を想定している。

- その他の質問**
- ・ 福祉行政
  - ・ 教育行政
  - ・ 建設行政
  - ・ 産業振興行政
  - など

## ◎議会の要望活動

JR長都駅利用者の安全確保のため、ホームの拡張と屋根の設置を要望しました。

JR長都駅は、工業団地の造成や住宅地の開発などにより、利用者が年々増加していますが、雨天時の傘の使用や冬期間の雪の堆積によりホームの幅員が狭くなり、電車との接触や線路への転落事故が懸念されます。



JR長都駅の様子（令和3年3月3日）撮影

市議会では、現状の改善を求めるため、2月5日（金）に、佐々木議長、宮原副議長、松倉総務文教常任委員長および仲山同副委員長が、横田副市長とともに、北海道旅客鉄道株式会社本社を



宮越常務取締役（左）に要望書を手渡した佐々木議長（右）

訪問し、応対した常務取締役鉄道事業本部長 宮越宏幸氏および鉄道事業本部駅業務部長 橋場康人氏に対して、昨年に引き続き「JR長都駅におけるプラットホームの幅員拡張とプラットホームへの屋根設置を求める要望書」を手交し、プラットホームへの屋根設置の早期実現を強く要望しました。





公明党議員団  
今野 正恵 議員

### 新型コロナウイルス感染症に係る医療体制

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大の終息への希望となるワクチン接種の、さまざまな課題について伺う。例えば、アレルギーをもっている方への対応や、介護事業所、高齢者施設等から外へ連れて行くことのできない高齢者などへの対応はどのようにするのか。

また、現時点で考えられる課題についての対応等の所見を伺う。



ちとせの未来を創る会  
北山 敬太 議員

### 二人親世帯に対する支援金の給付

**問** コロナ禍で、低所得の子育て世帯に特に大きな困難

**答** 市長 ワクチン接種は、新型コロナウイルスに対する免疫をつけ、発症や重症化を予防するために重要なものだが、まれに副反応が現れることがある。薬や食品などで重いアレルギー症状を起こしたことがある方は、接種をする前に、アレルギー症状や日頃の健康状態について十分確認するとともに、ワクチン接種時に体調が急変した場合に備えて、全ての接種会場に救急用品を配置することとしている。また、接種会場に来ることができない高齢者等の施設入所者については、医師と看護師が施設を訪問してワクチンを接種する、巡回型のワクチン接種の実施について検討しており、現在、各施設に対して意向調査を行うとともに、

が生じている。ひとり親世帯に対しては、昨年8月と12月に臨時特別給付金が支給されているが、二人親であったも生活に窮する家庭はある。二人親世帯に対する国の支援がない現在、子育てするなら千歳市のキャッチフレーズを掲げるまちとして、未来ある子どもたちを積極的に支援する事業が必要と考えるが、二人

千歳医師会と協議している。なお、自宅で生活され、在宅介護を受けている方で、接種会場に来ることができない方に対するワクチンの接種方法が課題となっており、千歳医師会の協力をいただきながら、医師と看護師の往診等によるワクチン接種を検討している。

### 縄文遺跡群世界遺産登録

**問** 北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録への可能性が現実味を帯びてきたが、市民の認知度は低いと感じている。今後、市民あげての機運向上が決め手となると考えるが、機運を高めるため、駅周辺や繁華街などへの周知看板の設置や、あらゆる媒体を使

つての宣伝広告活動、また、空き店舗や公共施設を利用して文化財の価値についての理解を深める工夫、更には市内企業や各団体への協力要請など、世界遺産登録への本気度を示す意味においても、更なる取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。

**答** 教育長 これまでも、市内小中学校に対しては、埋蔵文化財センターやキウス周堤墓群を学校教材として活用するよう周知しているが、子ども版パンフレットを作成し、令和3年度から小学校の社会科学授業の資料として配布することとしている。また、本年5月から、来訪者が史跡の価値を正しく理解し、魅力を感じるができるよう、キウス周堤墓群を守り活かす会と

親世帯に対する支援金を千歳市独自で給付することはできないか伺う。

**答** 市長 子育て世帯に対する市独自の取り組みとしては、現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな不安を抱えて出産や育児を行う母親を支援するとともに、経済的な負担を軽減し子どもの健やかな成長を応援

するため、国の特別定額給付金の支給対象とならない令和2年4月28日以降に生まれた子どもを対象に10万円を支給する、千歳市新生児子育て支援臨時特別給付金・ちとせっこ笑顔きらきら給付金や、小中学校の就学援助受給世帯を対象とした、就学援助児童生徒支援臨時給付金事業などを行っている。新型コロナウイルス

の協働によるボランティアガイド事業を実施するほか、キウス周堤墓群をテーマとした、フォトコンテストの開催を予定している。さらに、ツイッターなどSNSによる情報提供のほか、テレビ・ラジオなど、さまざまな媒体を通じて世界遺産登録に関する情報発信が行われる予定であり、今後も、世界遺産登録の実現に向けて、さまざまな取り組みを行っていく。

### その他の質問

- ・市政運営
- ・地域経済活性化
- ・子育て福祉
- ・高齢者福祉
- ・公営企業

ルス感染症は、親の人数や子どもの有無に関わらず、さまざまな家庭に影響を及ぼしており、二人親世帯に限定した給付金の支給を、本市独自の施策として実施することは考えていないが、今後、それぞれの家庭の状況に応じて、各種相談窓口への案内や、支援制度の活用について周知していく。

高校生、大学生に対する就学支援

**問** 千歳市の高校生、大学生等に対する奨学金は、毎年、枠を上回る申請がある。現行の奨学金は高校生月額7千円、大学生月額1万円だが、現在のコロナ禍で子どもの貧困はより大きな課題となっている。新年度はさらに多くの

奨学金申請が見込まれるが、特に入学には多額の出費が必要となることから、高校生等に対しても小中学生並みの就学援助を手当てできないか。未来ある子どもたちの進路を家庭の経済状況で左右させない施策の実施をお願いする。

**答** 教育長 高校生がいる家庭への支援は、国の高等学校等就学支援金制度により、公立高等学校は授業料の無償化、私立高等学校は所得に応じた支援を行っており、また、北海道は公立高校生等奨学金付金として、住民税非課税世帯等に対し給付型の奨学金の交付を行っている。大学生には、国の高等教育の就学支援新制度により、住民税非課税世帯等に対して入学金・授業料の減免を行っているほか、

日本学生支援機構を通して給付型奨学金の交付を行うなど経済的負担の軽減を図っている。市では、これらに加え、就学に伴うさまざまな経済的負担に対応する給付型奨学金を交付し、経済的理由で就学が困難な高校生や大学生への支援を行っており、令和3年度には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う出願者数

の増加が見込まれることから、交付人数枠を拡大するなど、今後も、必要な生徒・学生への支援を継続していく。

その他の質問

- ・財政危機への対応
- ・近隣自治体との連携
- ・医療体制整備
- ・市民協働の在り方
- ・中心市街地活性化 など



日本共産党 吉谷 徹 議員

生活保護申請への対応

**問** ①水際作戦時代とは変わり、市民が思っているほど要件が厳しくないと耳にするが、市民が知らないままでは生活保護がマイナスイメージのまま、正しい理解が広く浸透しないのではないか。自治体からも住民への理解を示すアプローチが必要と感じる。また、車や家の所有は完全にNGではなく、資産価値が無く、当人の生活に必要な不可欠な場合は認められると聞

くが、実際の要件、生活保護の申請手順や資産の取り扱い等、市民周知を兼ねて伺う。②新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、厚生労働省から生活保護に関してさまざまな通知が届いている、その中で、扶養義務者照会は2月国会でも問題となっていた。そこで、国からの生活保護対応に関しての通知の詳細を伺う。③職員の生活保護対応に関してどのような教育を行ったか、現状の取り組みを伺う。

**答** 市長 ①申請手順について、生活状況や世帯の収入、預貯金残高、活用可能な資産等の聞き取りをしながら制度の説明を行い、申請を希望する方から申請書を受理する。その後、扶養義務者照会や自動車等の所有、土地・家屋等資産状況調査等を行う。資産のうち車については、公共交通機関の利用が著しく困難な地域や車以外で通勤することが極めて困難な身体障がい者や障がい児者の通院・通所・通学に必要な場合は所有を認めている。土地や家屋については、処分価値が低くそのまま居住することが適当な場合は所有を認め、処分価値があり、他に収入がなく生活に困窮している場合は売却指示のうえ保護を開始し、売却益は、保護費として支給した額を限度に返還を求めている。②令和2年3月10日から令和3年2月26日までに7件の通知があり、主な内容は、現下の状況における適切な保護の実施についてでは、申請は扶養義務者との相談が要件であるかの

ごとく説明することは不適切であること、長期入院患者、概ね70歳以上の高齢者、20年間音信不通であり明らかに交流が断絶している場合などは個別に慎重な検討を行い、扶養の可能性が期待できないものとして取り扱って差し支えないなどである。また、保護の要否判定等における弾力的な運用については、緊急事態措置期間経過後に収入が増加すると考えられる場合、通勤用自動車を保有しているときは、保護開始時から概ね1年を目的に引き続き保有を認めることなどの通知があった。さらに、扶養義務履行が期待できない者の判断基準の留意点については、履行が期待できない者の判断基準として、当該扶養義務者が被保

護者、社会福祉施設入所者、長期入院患者、主たる生計維持者ではない非稼働者、未成年者、概ね70歳以上の高齢者、相続をめぐり対立している、縁が切られている、10年程度音信不通などの著しい関係不良、夫の暴力から逃れてきた母子や、虐待等の経緯がある者等、当該扶養義務者に対し扶養を求めることにより、明らかに要保護者の自立を阻害すると認められる者とするとの通知があった。③通知文書等は回覧で周知を行い、不明点や疑問点は密を避けるため少数人数で協議を行い、その結果を再度回覧し、職員内での周知徹底を図っている。

その他の質問

- ・感染防止への対応



無所属  
落野 章一 議員

除排雪事業

**問** 次について伺う。①パー  
トナーシッブ事業で依頼した  
町内会が貸しダンプに雪を積  
み込むが、住民が高齢化する  
中で何か省力化できる方法は  
ないか。②高齢者や障がい者  
のための除雪サービス事業が  
ある。町内会長と民生委員が  
支援を必要とする世帯を決め  
て町内会の有志やシルバー人  
材センターに頼む。その依頼  
状況はどうか。町内会の高齡  
化に伴って除雪の担い手は減  
少しているのか。

**答** 市長 ①市が貸し出して  
いる小型除雪機を利用して、  
直接、ダンプへ積み込みが可  
能であり、この方法を利用し  
た団体もあることから、機械  
操作の不安解消のため実施し  
ている小型除雪機の操作説明  
会のほか、除雪連絡会議や除  
雪地域懇談会でダンプへの積  
み込み方法の周知を行うこと  
もに、利用にあたっての意見  
を聴きながら、パートナーシ  
ッブ除雪排雪支援制度がさら

に利用しやすくなるよう研究  
し、地域力を生かした除排雪  
を進めていく。②令和3年2  
月時点の千歳市除雪サービス  
事業を利用していている世帯数  
は、高齢者世帯が576世帯  
あり、うち町内会が461世  
帯、シルバー人材センターが  
112世帯を支援している。  
一方、障がい者世帯は19世帯  
あり、うち町内会が17世帯、  
シルバー人材センターが2世  
帯を支援している。町内会の  
除雪支援の担い手は、高齢者  
世帯に対しては、平成29年度  
409人、平成30年度560  
人、令和元年度497人、障  
がい者世帯に対しては、平成  
29年度15人、平成30年度25人、  
令和元年度56人と推移してお  
り、町内会の支援を得て支援  
人数を確保している。

公園のバリアフリー化

空間、そんな公園を作るプロ  
ジェクトに関する認識と今後  
の取り組みについて伺う。

**答** 市長 平成18年に施行さ  
れた、高齢者、障害者等の移  
動等の円滑化の促進に関する  
法律や、平成20年に国が策定  
した、都市公園の移動等円滑  
化整備ガイドラインに基づ  
き、バリアフリーに対応した  
水飲み台などの導入や、公園  
の出入り口、園路等を、車椅  
子使用者の円滑な利用に適し  
た広さにするなど、一部の施  
設はユニバーサルデザインに  
対応した整備を進めている。  
遊具等については、国のガ  
イドラインに示されていない  
ことや、老朽化した遊具等の  
更新を重点的に行ってきたこ  
となどから、これまでユニバ  
ーサルデザインに対応した遊  
具等の設置は行っていない  
が、どこでも、誰でも、自由  
に、使いやすくという考え方  
を取り入れた施設整備は、東  
京2020パラリンピックの  
開催を控え、全国的に機運が  
高まっているものと認識して  
いる。今後、先行事例の調査  
や、遊具の種類などの課題の  
整理を行うとともに、関係者  
や団体などと意見交換を行う  
など、ユニバーサルデザイン  
を取り入れた公園整備につい  
て、よく調査・研究していく。

**問** 障がい児も一緒になっ  
て、誰もが遊びを通してわか  
りあえるユニバーサルデザ  
インな公園、子供は遠慮なく  
友達になれる名人だ。車椅子  
でも使える高さにある砂場、  
ベンチや手摺があるので車椅  
子でも乗れる回転遊具、ハー  
モニープランコは一人が漕ぐ  
と他方は合わせて揺れる、車  
椅子のまま水中に入れる水辺

第1回定例会 議決結果概要・議案の賛否

※議席番号「23」佐々木雅宏 議員は、議長のため、賛否は「-」としています。

件名・議案賛否・議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	委員会	議決結果
	岩満順郎	飯田盛好	大山益巳	今野正恵	平美由紀	仲山正人	宮原伸哉	末村友幸	山口康弘	松倉美加	小林千代美	北山敬太	松隈早織	渡辺和雄	五十嵐桂一	岡部いづみ	山崎昌則	香月正	古川昌俊	坂野智	落野章一	吉谷徹	佐々木雅宏		
(令和2年4定) 議案第11号 千歳市景観条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第1号 令和2年度千歳市一般会計補正予算について(第9回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	補正予算特別	原案可決
議案第2号 令和2年度千歳市国民健康保険特別会計補正予算について(第4回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	補正予算特別	原案可決
議案第3号 令和2年度千歳市土地取得事業特別会計補正予算について(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	補正予算特別	原案可決
議案第4号 令和2年度千歳市霊園事業特別会計補正予算について(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	補正予算特別	原案可決
議案第5号 令和2年度千歳市介護保険特別会計補正予算について(第2回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	補正予算特別	原案可決
議案第6号 令和2年度千歳市後期高齢者医療特別会計補正予算について(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	補正予算特別	原案可決
議案第7号 令和2年度千歳市病院事業会計補正予算について(第2回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	補正予算特別	原案可決

件名・議案賛否・議決結果		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	委員会	議決結果	
		岩満 順郎	飯田 盛好	大山 益巳	今野 正恵	平川 美由紀	仲山 正人	宮原 伸哉	末村 友幸	山口 康弘	松倉 美加	小林 千代美	北山 敬太	松隈 早織	渡辺 和雄	五十 嵐桂一	岡部 しづみ	山崎 昌則	香月 正	古川 昌俊	坂野 智	落野 章一	吉谷 徹	佐々 木雅宏			
議案第 8 号	令和 3 年度千歳市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決	
議案第 9 号	令和 3 年度千歳市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 10 号	令和 3 年度千歳市土地取得事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算特別	原案可決
議案第 11 号	令和 3 年度千歳市公設地方卸売市場事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 12 号	令和 3 年度千歳市霊園事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 13 号	令和 3 年度千歳市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 14 号	令和 3 年度千歳市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 15 号	令和 3 年度千歳市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 16 号	令和 3 年度千歳市下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 17 号	令和 3 年度千歳市病院事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 18 号	千歳市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第 19 号	千歳市基金条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 20 号	千歳市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第 21 号	千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	産業建設	原案可決
議案第 22 号	千歳市森林又はその周辺の火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	産業建設	原案可決
議案第 23 号	千歳市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	予算特別	原案可決
議案第 24 号	千歳市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	厚生環境	原案可決
議案第 25 号	千歳市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算特別	原案可決
議案第 26 号	千歳市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	厚生環境	原案可決
議案第 27 号	千歳市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	厚生環境	原案可決
議案第 28 号	千歳市指定居宅介護支援等及び指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	厚生環境	原案可決
議案第 29 号	千歳市道路条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算特別	原案可決
議案第 30 号	千歳都市計画土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	産業建設	原案可決
議案第 31 号	千歳市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算特別	原案可決
議案第 32 号	千歳市普通河川条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算特別	原案可決
議案第 33 号	千歳市準用河川条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算特別	原案可決
議案第 34 号	千歳市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第 35 号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第 36 号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	産業建設	原案可決
議案第 37 号	公立大学法人公立千歳科学技術大学中期目標の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	科技大公立法人調査特別	原案可決
議案第 38 号	令和 3 年度千歳市一般会計補正予算について（第 1 回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	原案可決
調査第 1 号	千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	調査終了

# 予算特別委員会

## 質疑

### 質疑委員

令和3年度一般会計、6特別会計予算および3企業会計予算を審査するため、議長を除く22人の委員で構成する「予算特別委員会」を設置しました。

この特別委員会は、3月12日から3月22日まで開催され、付託案件に対する質疑を行いました。

審査の結果は、第1回定例会の最終日に報告され、可決しました。

ここでは、14人の委員が行った質疑の一部を掲載します。

一般質問の様子は、市HPからご覧いただけます。



#### ☆日本共産党

・吉谷 徹 委員

#### ☆無所属

・落野 章一 委員

#### ☆自民党議員会

・末村 友幸 委員

・飯田 盛好 委員

・松倉 美加 委員

・五十嵐桂一 委員

・岩満 順郎 委員

・香月 正 委員

・山口 康弘 委員

#### ☆公明党議員団

・平川美由紀 委員

・仲山 正人 委員

#### ☆ちとせの未来を創る会

・松隈 早織 委員

・小林千代美 委員

・渡辺 和雄 委員



日本共産党  
吉谷 徹 委員

児童館管理運営事業費  
学童クラブ事業費

**問** 両事業を民間に事業委託すると聞くが、効率化や費用削減を今以上に求める中で、契約期間以降、従事する方の賃金や厚生福利などが下がる懸念があり、サービス、仕事の質の低下を招く可能性へつながるのではないかと。委託後、サービスや質の担保はどのように行うのか。また、トラブル発生に關しどのような対応、手立てをするのか伺う。

**答** こども福祉部長 委託契約期間は3年であり、受託事業者である公益財団法人さつぽろ青少年女性活動協会は、札幌市の児童会館やミニ児童会館などの運営実績を有しているほか、自然体験活動や若者支援などのノウハウを有していることから、市が仕様書で示した業務以外の取り組みも期待できる。また、各児童館に館長を配置することで、トラブルや苦情などへの対応が強化されるとともに、事故や災害などの発生時には速やかな対応が可能となるほか、児童見守りシステムを新たに導入するなど、安心で安全な管理運営がなされ、市は最終的な責任者として、迅速かつ適正な対応がなされるよう指導・監督を行っていく。



無所属  
落野 章一 委員

敬老祝金

**問** 次について伺う。①敬老祝金はお年玉のように楽しいものだが、市はより安定したサービスとして介護保険料の引き下げを行った。その詳細。②インフルエンザワクチンの接種を持続的に無料化できないか。③敬老祝金を一気に引き下げた。段階的に行うことはできなかったのか。④今回の引き下げに市長は大いに悩み苦しんだと思うが、その所見。

**答** 保健福祉部長 ①全道の介護保険料の平均額は5519円だが、本市の保険料は、基金の活用等により4600円としており、石狩管内で最も低い額である。②予防接種法に基づき定期接種として料金の一部を市が負担しており、無償化は考えていない。③コロナ禍で先が見通せない状況を考慮し、現役世代の負担を早急に抑える必要があり、敬老祝金などの個人給付の維持は今後も大変厳しいと考え、見直しを決断した。市長 今回の見直しは、市民に新たな負担を求めるのではなく、市民生活に大きな影響がないと判断して決断した。対象者の市民の皆さんや、これから対象となる市民の皆さんには残念に思っている方も多いと思うが、是非ご理解をいただきたい。



自民党議員会

末村 友幸  
委員

## デジタル化推進

**問** ①デジタル化推進は、市の新たな生活、新たなまちづくりに必要と考える。役所の情報化推進事業はもちろん、民生委員など行政サービスの一部を受け持っているまちづくり委員の情報化推進についての考えを伺う。②すべての市民のデジタル化という視点から、高齢者のデジタル化対応支援についての考えを伺う。

**答** 総務部長 ①市が活動費を支給している委員や団体等の活動内容は多種多様で、情報化の必要性の範囲や程度が異なるため、それぞれの所管や各団体等が特性に応じて能動的に取り組むべきものと考えており、一律・統一した情報化は考えていない。②千歳学出前講座で、パソコンの操作や市民活動におけるSNSの利用のためのIT講習会が行われている。また、国は、デジタル機器に不慣れな高齢者などを対象に、令和3年度から民間事業者やNPO等を担い手として、スマートフォンを基本的な使い方やオンライン予約などをメニューとした講座の開催などを支援することから、国の制度利用の促進のため、市ホームページや広報とせによる周知などを行い、高齢者の情報格差の解消に努めていく。



自民党議員会

飯田 盛好  
委員

## 敬老祝金贈呈事業費

**問** 次について伺う。①敬老祝金贈呈事業施行当時、市民に対し会合を開き理解と協力を求めたが、今回の見直しに際し、行政として理解を求める努力を行ったのか。②新型コロナウイルス感染症が終息傾向になった場合、この事業の復活はあるのか。③敬老祝金贈呈事業に変わる施策はあるのか。

**答** 保健福祉部長 ①今後、広報とせなどにより、見直し内容を周知し、丁寧な説明に努めていく。②事業の見直しは、平均年齢が男女とも80歳を超え高齢者人口が増加することに伴い、対象者数も、平成17年度の事業開始時と比較して令和7年度は約2.5倍となる見込みであり、現役世代の負担軽減も念頭に置いて行ったことから、新型コロナウイルス感染症終息後でも、事業を従前に戻すことは考えていない。③住み慣れた地域で支えあい、安心して暮らすことができる地域社会の実現に向け、地域包括ケアシステムの構築を進め、介護保険サービスの基盤整備や在宅支援サービス、認知症施策を推進しながら、高齢者の負担軽減を図り、介護保険サービスを中心とした高齢者施策を総合的に進めていく。



自民党議員会

松倉 美加  
委員

## サテライトオフィス等促進事業費

**問** 千歳アルカディアプラザに新設されるサテライトオフィスは、主に首都圏の企業を対象に、市内の空きオフィスとマッチングできるまでの間、お試して入居してもらい、新たな市内オフィスへの移転後は、最大1年まで月10万円の家賃補助をする事業である。コワーキングスペースでは、テレワークでの個人利用を想定しているが、事業開始時期・対象者、また市内の学生なども含まれるのか伺う。

**答** 産業振興部長 供用開始の時期は、設置を予定しているスペースの整備に半年ほど要することから、10月頃と想定し、企業が当該スペースを利用できる期間については、極力多くの企業にお試しいただきたいという趣旨から、3月程度を限度として、企業のニーズに柔軟に対応していきたいと考えている。事業の利用対象者について、ターゲットは、移住やUITターン等を検討する首都圏等在住者、新千歳空港を利用するビジネスパーソン、市内立地企業の本社等からの出張者などを想定しているが、テレワークを実践する市民や学生などの利用についても特段の制限は設けていない。



自民党議員会

五十嵐 桂一  
委員

## 病院事業会計

**問** 北海道医療計画では、感染症病床を北海道全体に98床整備すると決められているが、実際には94床しか整備されていない。当市を含む札幌2次医療圏では、市立札幌病院の6床しかなく著しい偏在である。新型コロナウイルスの発生から既に1年以上経過しているが、足りない4床については北海道ではいまだ議論も進んでいない。当市に誘致し整備すべきと考えるが、市長の所見を伺う。

**答** 市長 感染症病床は、北海道医療計画に基づき、道が国の基準を満たした医療機関を指定し設置するものであり、市が申請する制度ではないが、市民病院は市民の医療を担う基幹病院であり、今後、感染症が長引くことや新しい感染症が起り得ることも考えると、感染症対策をどう担っていくのか、検討する必要性は認識している。しかし、国の検査体制、入院医療体制の確保、ワクチンの開発体制には課題が多く、国は課題を整理し、取り組みの方向性を示すべきであり、これを見極め地域医療の在り方を考えていく中で、市民病院の感染症病床についても、今後、国や道の動向を見極めながら検討していく。



自民党議員会  
岩満 順郎  
委員

### 道路橋梁整備事業費

**問** 次について伺う。①令和3年度の幹線・補助幹線道路と生活道路の整備予定箇所。②令和2年度末と令和3年度末の街路灯整備の進捗率。③令和2年度に整備した橋梁と令和5年度までに整備する橋梁。

**答** 建設部長 ①幹線・補助幹線道路は、真町泉沢大通、鉄北通、東4線道路、南26号道路、協和中央線、東丘泉郷線、根志越第2道路、中央釜加線を、生活道路は、東郊地区、北栄地区、自由ヶ丘地区、清水町地区、栄町地区、未広地区、梅ヶ丘地区、緑町地区、北斗地区、新富地区、富士地区、大和地区の整備を予定している。②更新予定の249基中、令和2年度は43基を更新し進捗率は約17%、令和3年度は70基の更新予定で進捗率は約45%になる見込みである。③令和2年度は、公園橋、サーモン橋、仲の橋、平和橋、日の出橋、向陽橋、朝雲橋、作道跨線道路橋、農道跨線道路橋の9橋を整備した。令和3年度は、清雲橋、山線鉄橋の2橋を予定しており、その後、長寿命化修繕計画で令和5年度までに、清流橋、千歳神社社務所横の社橋、15号排水橋、清水橋など、16橋を修繕する予定である。



自民党議員会  
香月 正  
委員

### 地域公共交通利用促進事業費

**問** 平成28年10月にバス路線が再編された際、桜木、自由ヶ丘と長都駅の巡回路線がなくなったが、桜木、自由ヶ丘地区の住民は長都駅を通勤・通学に利用されている方も多く、また、長都駅や商業施設アークスにも直接行けず、大変不便な状況にある。そのため、路線の見直しの際には、ぜひとも桜木、自由ヶ丘と長都駅の巡回路線を復活していただきたいと考えるが、所見を伺う。

**答** 企画部長 バス路線の再編に際し、市が行った公共交通に関するアンケート調査では、市民生活に必要な、通勤・通学、買い物、通院による移動実態について、また、それぞれのエリアから重要な目的地のニーズはどのようになっていくか把握をした。

桜木・自由ヶ丘エリアからの重要な目的地として、千歳駅の次に長都駅が多くあげられていること、自由記載欄では、長都駅や、アークス長都店への路線を望む声が多くあることから、提案のあった路線については、令和3年度に行う見直しにおいて、需要を見定める実証運行を行うことを検討していく。



自民党議員会  
山口 康弘  
委員

### オリンピック聖火リレー千歳開催事業費

**問** 市で行われる聖火リレーについて伺う。①開催における波及効果。②新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策と沿道の安全対策。③聖火ランナーやボランティアの人員計画。④開催の中止や内容の変更、市民要請など市民への周知方法。

**答** 観光スポーツ部長 ①まちの知名度向上と交流人口の拡大や、市民の財産、誇りとして未来へ受け継がれていくことを期待している。②聖火リレーのスタート地点やゴール地点の観覧人数の制限、消毒液の確保、密集回避の周知看板等の作成、スタッフ等へのフェイスガード配布などを想定し、沿道で密集が確認されたときは分散の呼びかけを行う。③千歳を走る聖火ランナーは、北海道募集枠2名以外の情報は入っていない。ボランティア配置計画は、感染対策のため人数を減らし、不足する人員は市職員等で対応する。④千歳ステーションプラザに接続する駅前連絡通路に聖火リレー千歳開催の横断幕を設置し、市ホームページに開催の決定と新たな日程を掲載し、4月以降、カウントダウンパネルの設置や広報とせ掲載、町内会への回覧など、広報活動を順次展開していく。



公明党議員団  
平川 美由紀  
委員

### 高齢者生活支援事業費

**問** 今後ますます高齢化が進み、除雪の支援は増えていくと思われるが、ボランティア除雪の人手不足は深刻な問題である。高齢者除雪サービス事業で除雪業者に支払われる報酬額はいくらか。また、除雪作業の人材確保に向けて、報酬金額の見直しは一つの方法と考えるが所見を伺う。

**答** 保健福祉部長 町内会には、除雪回数にかかわらず1世帯当たり年間7千円支払い、この使いみちは、担い手への謝礼やボランティア活動保険料、除雪用具の購入、会議費用など、町内会の自主性に任せている。シルバー人材センターには、同センターの基準に従い、時給1404円、交通費が必要な場合は200円を加算している。また、環境整備事業協同組合の事業者ボランティアは無償だが、除雪機を使用した場合は、同組合へ1世帯当たり1万円を支払っている。

今後の本市における高齢化率の上昇を踏まえ、現在の体制では対応できない場合も考えられることから、助成金等の額や対象者の見直しのほか、人材確保も含めた高齢者除雪サービス事業の在り方を、委託先の社会福祉協議会とも随時協議していく。



公明党議員団

仲山 正人  
委員

## 地域公共交通利用促進事業費

**問** 地域公共交通利用促進事業費に、路線バス運行情報配信強化補助金が予算化されている。千歳市には、バス利用者へ運行状況等を情報発信するシステム、千歳市発のバスロケーションシステムちーなびがあり、バス利用者にとって非常に便利であると認識している。今回の予算で取り組む事業の詳細について伺う。

**答** 企画部長 ちーなびは、プログラムの老朽化や不具合などの課題が生じているため令和3年度末に廃止し、新たに運行情報配信機能を強化したシステムの構築を行う予定であり、近年の路線バスのリアルタイム情報は、GPSを活用した世界統一のフォーマットで、誰もが情報を共有できるオープンデータとすることにより、 구글マップや他の乗換検索サイトで利用できるなど、汎用性に優れていることから、バス事業者に、新たにバスの現在地情報を把握するための車載GPS端末の設置に係る費用とオープンデータ化するシステム構築に係る費用を補助するものである。

これにより、市民やインバウンドを含む観光客の、路線バス利用の利便性向上が図られると考えている。



ちとせの未来を創る会

松隈 早織  
委員

## アイヌ施策推進地域計画事業費

**問** アイヌ文化イオル再生事業など、アイヌ施策関連事業費が予算計上されている。イオルとは、アイヌ語で狩り場という意味であり、イオル再生とは、アイヌ文化を育んできた自然環境や生活空間を再生することだと認識している。具体的な事業内容について伺う。

**答** 企画部長 市では、イオル再生事業により、千歳アイヌの伝承活動である、柱の木を使用した丸木舟を使ったサケ漁をより充実させ、次代へ確実に継承するため、丸木舟2艘の制作と、チプサンケと呼ばれる進水の儀式を開催し、この一連の伝承活動を映像等に記録することを、千歳アイヌ協会に委託して実施する予定である。また、共用林野調査事業により、国と市が共用林野契約を締結し、地域のアイヌの方々が伝承活動に必要な樹木や植物などの林産物を国有林野から採取できるよう、市街地から支笏湖までの、道道支笏湖公園線から南側の国有林野内において、千歳市アイヌ施策推進地域計画に掲げる樹木、山菜、薬草、果実、樹皮など林産物の資源量調査を民間事業者者に委託して実施する予定である。



ちとせの未来を創る会

小林 千代美  
委員

## 令和3年度予算案

**問** 令和3年度予算案策定は、コロナ禍の影響により大変厳しい作業であったと聞く。マイナス5%シーリングを実施したが、それが令和4年度以降の予算に与える影響を伺う。同時に全庁的な事業の見直しも行ったというが、もっと見直しできる事業はなかったのか。次年度以降にもつながる課題だと考える。

**答** 総務部長 マイナスシーリングの影響は、予算編成方針を策定する時点の経済の見通しや、市の財政状況などを見なければ判断は難しく、新型コロナウイルス感染症の影響による経済の悪化が続くなど、市税等の歳入一般財源の大幅な減少が続いた場合などは、マイナスシーリングが続く可能性がある。令和4年度以降の予算編成は、新型コロナウイルス感染症の影響や経済の動向をよく見極めながら適切に対応していく。事業の見直しは、事業効果や優先性などを分析するとともに、市民生活や市内経済活動へ配慮する必要がある。令和3年度の予算編成には、財政標準化計画推進会議において共通認識とし、慎重に検討してきた。令和4年度予算編成も、引き続き、不断の見直しを行っていく。



ちとせの未来を創る会

渡辺 和雄  
委員

## 学校改修事業費

**問** 市内小中学校24校中、現校舎建築後50年以上経過している学校は6校あり、うち3校が、外壁改修・屋上防水改修の大規模改修を過去10年行っていない。校舎のコンセプト・考え方も変化していることを含め、老朽化校舎の建て替え・更新を、ぜひ検討していただきたいが、所見を伺う。

**答** 教育部長 小中学校の改修事業は、建築基準法に基づく、建築物・建築設備等の法定点検や、消防法に基づく消防法設備の法定点検のほか、施設の目視点検の結果や、学校からの施設の改善要求等を踏まえ、年度別改修計画を策定して、計画的に実施している。このほか、施設内の部分的な設備等の改修や小規模な修繕については、小中学校営繕事業費や小中学校維持補修業務経費により対応している。

小中学校の改修事業にあたっては、学校施設の長寿命化やコストの縮減を図るため、学校施設の整備計画を策定し、計画的に事業を進めており、鉄筋コンクリート造については、70年以上使用できるよう、適切な改修や補修を行い、児童生徒の学習環境の維持に努めていく。

# 第8回 市民の声を聴く会を開催しました

令和3年2月19日(金)18時から、市議会議場において「第8回市民の声を聴く会」を開催しました。

今回は、公募した市民が、壇上から市政に係る提言を行い、後日、提言に対し文書で回答する方法で開催しました。

当日は7名が壇上に上がり、次の提言を行いました。

- ①「市民病院に院内学級、精神科、心療内科の設置について」  
橋本 匡弘 氏
- ②「公共施設の維持管理について」 中嶋 純治 氏
- ③「スポーツ宣言都市千歳の行政の取り組みについて」  
西澤 廣雄 氏
- ④「新しい生活様式を取り入れた避難所の在り方の検証について」  
北原 偉男 氏
- ⑤「広報の在り方について」他 松本 一光 氏
- ⑥「健康から考える防災対策」 相澤 晶子 氏
- ⑦「中心街の再生復興・再開発について」 山内 侃一 氏



提言の内容と市議会からの回答は、市議会ホームページに掲載しています。

※市ホームページ  
⇒千歳市議会  
⇒議会改革  
⇒市民の声を聴く会



【会場の様子】

## 議会事務局からのお知らせ

### ★議会の予定

令和3年第2回定例会は、6月25日(金)に開会する予定です。

正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページやポスターでお知らせします。

### ★ホームページのご案内

会議の出席状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などをご覧になることができます。

ぜひアクセスしてください。

### ★表紙を募集しています!

市議会だより(年4回:2・5・9・12月発行)の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

### (問い合わせ先)

千歳市議会事務局 総務課 調査係  
TEL 0123-24-0791 (直通)  
E-mail:gikaisomu@city.chitose.lg.jp

### ★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。

希望される方は、次のところまでお問い合わせください。



### (問い合わせ先)

千歳市総合福祉センター2階  
点字図書室 TEL 0123-27-3921

### 編集後記

本定例会では、新型コロナウイルス感染症対策と、新たにスタートする千歳市第7期総合計画のもとで進める事業に対し、多様で活発な議論が展開されました。23名の議員は、一人一人がそれぞれの視点からまちの様子や市民の活動を見て、その声を聴いて、または自らが体感して、独自の「感性」を磨いて議会に臨んでいました。

市議会だよりは、そのような議員のまちづくりへの想いを込めた質問・質疑や議会活動を市民の皆様が理解しやすいように、また、「感じる」ように工夫してきました。現在の編集委員は、今号をもって任期を終了します。この間、市民の皆様からは多くのご意見や表紙写真の提供を頂き、衷心より感謝申し上げます。(編集委員長 末村 友幸)

**議会報編集委員会**  
委員長 末村 友幸  
副委員長 小林 千代美  
委員 飯田 盛好  
松倉 美加  
平川 美由紀  
渡辺 和雄  
吉谷 徹

市議会だよりは、再生紙と大豆インキを使用しています。